



幼保連携型認定こども園

倉治こども園

こども園だより

令和 7年 9月 1日発行

園長 伊賀 治

思いやりと感謝の心を育むために

9月になりましたが、まだまだ厳しい日が続いています。夏の疲れが出始める時期でもあります。どうぞ健康にはご留意ください。園では運動会に向けての計画・準備が始まっています。また、練習もはじまります。暑さを考慮し涼しい時間帯に短時間で、室内も使いながら進めていきます。

さて、さくら組は夏祭り(有志)と誕生日会で和太鼓を披露してくれました。練習の成果もあり立派な演奏でした。たくさんの応援ありがとうございました。また、8月上旬には、プレハブおよびガス倉庫の撤去工事を行いました。この間何かとご不便をおかけいたしました。ご協力いただきありがとうございました。



【お泊り保育を終えて】

さくら組は、8月29日(金)・30日(土)にお泊り保育を行いました。全員が参加でき、皆で一泊する貴重な経験になりました。また、おかげさまで大きなトラブルやケガ・病気もなく実施することができました。初めて親子が離れての一泊二泊は不安なこともあったと思いますが、お昼ご飯では、子「お弁当好きなおかずありがとう」、親「ちゃんと食べてるかな」、お化け屋敷では、子「怖かったよ～早く来て」、親「泣いてないかな」、お泊りでは、子「いつもありがとう」、親「一人で大丈夫かな」などと、思いを通わせる素敵な機会になったと思います。また、子どもたちがひとまわり成長する貴重な体験になったと思います。

お泊まり保育の目的は、①お友だちと寝食を共にすることにより「協調性」が育まれます。②親元を離れて一晩を過ごし「自立心」が育まれます。③自分のことは自分です中、できたことを実感することで「自信」がつけます。お泊り保育は、お友だちと特別な時間を過ごし、こども園での大切な思い出の一つになったことと思います。保護者の皆様にはご理解ご協力いただきありがとうございました。



【敬老の日を考える】

私事ですが、過日大人になってはじめて家族（両親・自分・弟・妹）と一泊でかけました。私が小さい頃は経済的にも余裕がなく、ハイキングなどが思い出の中心になっています。両親も年を重ね米寿になる年齢になりました。母の入院・手術などもありましたが元気なお祝いも兼ねて行くことができました。穏やかな心地よい時間を過ごせました。改めて、日ごろから喜んでもらえるよう、安心してもらえるようつながりを持っていければと思います。今年の敬老の日は、子どもたちと一緒に実家に帰り、皆でお祝いでできればと思っています。



【アンパンマンの世界～「やなせたかし展」より～】

先日、アンパンマンの生みの親でもある「やなせたかし展」（美術館「えき」K YOTO）に行ってきました。朝ドラの『あんぱん』の効果もあり、たくさんの方が来られていました。

はじめて登場したアンパンマンは、おなかをすかした人にアンパンを配って回るぼろぼろのマントを着た太ったおじさんでした。背景には、やなせさんの飢えに苦しんだ過酷な戦争体験があります。その後、絵本では自分の顔をおなかのすいた人に食べさせるというキャラクターで大人には不人気でしたが、子どもたちの人気者となり、その後アニメ化され、国民的なキャラクターになりました。子どもたちが大好きなアンパンマンの誕生秘話から、作品への作者の強い思いが伝わってきました。展覧会のテーマにもあるように「人生よろこばせごっこ」の思いが込められていました。改めてアンパンマンの魅力が伝わってきて、子どもたちに大人気であることがよくわかりました。

また、「手のひらを太陽に」は、やなせたかしさんの作詞ですが、漫画家として売れず行き詰っていた時に生まれたものです。倉治こども園でも、子どもたちが元気よく歌っています。とても素敵な歌詞ですね。

ぼくらはみんな 生きている 生きているから 歌うんだ
ぼくらはみんな 生きている 生きているから かなしんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば
まっかに流れる ぼくの血潮
ミミズだって オケラだって アメンボだって
みんな みんな生きているんだ 友だちなんだ



【お知らせ】四條畷保健所より(8/18付け)

四條畷保健所管内で新型コロナウイルスの感染者数が増加しています。変異株「ニンバス」は、ひどいのどの痛みをとまなう症状が特徴です。ご注意ください。